

令和8年度 主題研究

研究主題「すべての子どもの学びを支える教育課程の試み」

～学校裁量の時間の有効活用を通して～

研究主題「すべての子どもの学びを支える教育課程の試み」
～学校裁量の時間の有効活用を通して～

【目指す子どもの姿】

- ◎問題解決に向けて、粘り強く課題に取り組む子ども
- ◎興味・関心に応じた自分の学びや探究的な学びの成果を表現できる子ども

【推進内容2】特色を生かした教育活動及び教員の資質・能力の向上を図る
学校裁量時間の取組の在り方

- ・ヒーロータイム
- ・きらきらタイム
- ・つむつむタイム1・2

【推進内容1】教育課程内で行う授業時間短縮に応じた授業における指導や支援の在り方

- ・40分授業を展開するための、単元計画や1単位時間の構造化の工夫
- ・教材研究の充実と、学習に用の重点化・課題の精選
- ・個々の実態を把握するための指導に生かす評価の充実

どう時間を生み出すか

1単位時間

45分 → 40分

1日あたり
約30分



子どもが

自分の学びのために
使える時間

年間

約100時間



教師が

自分の学びのために
使える時間

教育の質の向上



研究内容Ⅰ

指針1

やってみたい！



もっと知りたい！

子どもと大人の わくわくづくり

裁量的な時間

指針2

やってみたい！



もっと知りたい！

研究内容Ⅱ

45分授業
↓
40分授業



どうやってたら
効果的・効率的に
児童の力を伸ばせるかな？

時短に応じた 授業づくり

カリキュラム・マネジメント、主題研究など

研究内容 I に係る取組内容について

| | |
|--------------|--|
| 研究内容 1 児童 | ヒーロータイム【つながる心】 1人ひとりが輝き学級がよりよくなる活動 |
| | きらきらタイム【つながる心】 学校全体の異年齢集団で全員が役割や活躍の場がある活動 |
| | つむつむタイム1【自分の学び】 学びたい学習(個別最適な学び)を選択し学習に取り組む活動 |
| | つむつむタイム2【自分の学び】 子どもの興味・関心に元づいた探究活動 |

| | |
|--------------|---|
| 研究内容 1 教師 | しおかぜタイム(MYタイム) 自己研修や教材研究等を個人や近接学年等で行う時間 |
| | しおかぜタイム(OURタイム) 全職員で学びあったり体験しあったりする時間 |

研究内容 I に係る取組内容について

ヒーロータイム【つながる心】

1人ひとりが輝き学級がよりよくなる活動

学級単位で行う。

- エンカウンター
- スポコンチャレンジ
- 話し合い活動

*評価をしっかりと行う

研究内容 I に係る取組内容について

きらきらタイム【つながる心】

学校全体の異年齢集団で全員が役割や活躍の場がある活動

- 「遊びの会」をもとにして全校での交流を行う。
- 縦割りグループを中心として活動していく。

研究内容 I に係る**取組内容**について

つむつむタイム1【自分の学び】

学びたい学習(個別最適な学び)を選択し学習に取り組む活動

○個人でじっくり取り組む

○ドリルパークやデジタル教科書等を使用し、**自己選択した**
基礎・基本の定着に向けた学習内容に取り組む

***振り返り活動を行う。**

研究内容 I に係る取組内容について

つむつむタイム2【自分の学び】 子どもの興味・関心に元づいた探究活動

- 1, 2年生、教科書や学習内容から、教師で調べたい内容を提示し、児童の興味関心をもとに調べ学習を行う。
- 3, 4年生、総合的な学習と関連づけ、環境問題や、SDGs17等から興味・関心のもとに調べ学習や調査学習を行い、まとめる。まとめた内容を意見発表する。

研究内容 I に係る取組内容について

つむつむタイム2【自分の学び】 子どもの興味・関心に元づいた探究活動

- 5年生、総合的な学習と関連づけ、糸島の良さについて興味・関心も
とに調べ学習や調査学習を行い、まとめる。まとめた内容を意見発
表する。
- 6年生、キャリア学習と関連づけ、今後の自分についてGTや身近な
大人から意見を聞いたり、未来の自分史を作成したりする。内容を
意見発表する。

教師「しおかせMYタイム」(研究内容 I)

教師が「ワクワク」したり「じっくり」取り組んだりする



教師の
興味・関心

ひ・き・つタイム・授業の教材研究及び個人研修

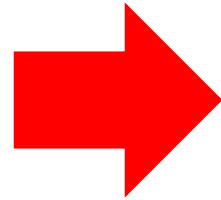
= 授業や活動の質の向上

好きや興味を広げる時間

= 教師のワクワク

教師「しおかぜOURタイム」(研究内容 I)

教師のスキルアップや課題克服に向けグループや全員で学び合う



- 大学教授による講話
- 先輩先生に学ぶ会
- 民間企業から講師招聘 など

教師の課題
(教科指導や学級経営、
保護者対応など)

研究内容Ⅱ【40分授業における指導や支援の在り方】

主体的に学ぶ児童を育む学習指導

～「課題把握」「課題追究」「課題解決」を位置づけた
単元構成の工夫と1単位時間の学習活動の最適化を通して～

主体的に学ぶ児童とは

めざす子どもの姿

【やってみたい！を見つける子ども】

○「これまでのやり方ではできないな！」 「なぜこうなるのだろうか？」などの自分の問い（課題）をもち、解決方法や順序などの解決の見通しをたて、課題解決に向かう姿

【なるほど！を求めて取り組む子ども】








○学習課題の解決に向け、解決の方法を自ら選び追究したり（個別最適な学び）、自分の考えを広げたり深めたり（協働的な学び）しながらあきらめずに取り組む姿

【分かった！できた！をつなぐ子ども】

○自分の問い（課題）に向けた考えをまとめ、自分の学びの課程を振り返り、次の学習の改善へつなぐ姿



子ども主体にした単元構想を大切にします！

| 単元過程 | 段階 | 主な活動 | 期待する子供の反応 |
|--------------|------|---|---|
| 課題把握 (導入) | 課題把握 | 子供が関わりのあることや学ぶ意義のある学習問題への出会いと単元の学習課題の設定 (自分事) |  面白そうだ！ なぜ？ 何をどうすれば？ |
| | 見通し | 学習課題の解決に向けた見通しや計画づくり |  ○○について解決したい！○○すれば…次に○○してみよう |
| 課題追究 (展開) | 追究 | 解決方法を考えたり、情報を収集したりする活動 |  まずは○○でやってみよう |
| | | 友達などと考え方や方法を交流したり、考えを広め、深めたりして表現する活動 |  友達の考えの、○○を加えよう。 |
| | | 他の事象について生かしたり、自分の考えを再考したりして深める活動 |  他の事象や問題でも使えるかな、できるかな。 |
| 課題解決 (終末) | まとめ | これまでの学習を振り返り、分かったことや考えたことを整理しまとめる活動 |  この学習でできるようになったことは… |
| | 振り返り | 本単元でがんばったこと、難しかったところ、工夫したところ、次に試したいことや使いたい学び方、行動などを振り返る活動 |  はじめは～だったけど、▽▽したら○○ができるようになったな。次は… |

40分授業における学習活動の最適化

☆ 単元の段階や本時目標に合った学習活動の最適化を図ります！

例) ア【課題把握段階】導入中心型

| | | |
|------------------|------------------|------------------|
| 導入 20分程度 (学習活動①) | 展開 15分程度 (学習活動②) | 終末 5分程度 学習活動③ |
|------------------|------------------|------------------|

イ【課題追究段階】 展開2活動 個別と協働型

| | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|------------------|
| 導入 5分程度 (学習活動①) | 展開① 15分程度 学習活動② | 展開② 15分程度 学習活動③ | 終末 5分程度 学習活動④ |
|--------------------|--------------------|--------------------|------------------|

ウ【課題追究段階】 展開1活動 じっくり自分型

| | | |
|--------------------|--------------------|------------------|
| 導入 5分程度 (学習活動①) | 展開① 15分程度 学習活動② | 終末 5分程度 学習活動③ |
|--------------------|--------------------|------------------|

エ【課題解決・振り返り段階】 学習課題に向けた考え整理・振り返り型

| | | |
|--------------------|-------------------|-------------------|
| 導入 5分程度 (学習活動①) | 展開 15分程度 学習活動② | 終末 20分程度 学習活動③ |
|--------------------|-------------------|-------------------|

教師の手立てや工夫について【心がけ・大切にしたいこと】

① 単元目標や本時目標を明確にし、高めたい資質・能力に応じた評価規準（単元）と評価規準（本時）を明確にして進める。
※学習指導要領解説により該当する箇所を確認して取り組む授業

② 主体的な姿を引き出すための教師の働きかけ
サイクルをつくる。

課題把握：魅力的な教材や事象の提示

課題追究：追究方法や学習形態の自己選択・自己決定

追究活動が進まない児童への手立て

課題解決：学びのプロセスを価値づける工夫

教師の手立てや工夫について 心がけ・大切にしたいこと

- ③ 子供の主体的な学びを支えるICTの活用
 - 課題把握・課題追究・課題解決に応じたICTの活用
 - 思考の可視化、対話の活性化のための使用への積極的なチャレンジ
- ④ ユニバーサルデザインの視点を取り入れた支援の工夫
 - ・視覚化（板書の整理、絵カードの活用）
 - ・共有化（活動の目的の明確化）
 - ・焦点化（不要な刺激を減らし、大事なポイントを絞る）
 - ・構造化（学習手順や時間の見通しがある）
 - ・関係性（活動と活動、前時と本時の関係、ペアやグループの協働学習の意図的な設定）